



■守谷慶友病院  
〒302-0118 茨城県守谷市立沢 980-1  
TEL:0297-45-3311 FAX:0297-45-4541



■ひがしクリニック慶友  
〒302-0108 茨城県守谷市松並 1630-1  
TEL:0297-48-6001 FAX:0297-45-3450



■伊奈クリニック  
〒300-2307 茨城県つくばみらい市板橋 2243-1  
TEL:0297-20-7755 FAX:0297-58-5507

## 病院概要

■病床数

178床  
(一般病床 74床 / 地域包括ケア病床 46床 / 障害者病床 58床)

■併設施設

つくば血管センター・バージャー病研究所・つくし保育園  
人工透析 40床

■設置医療機器

クラス 1000 手術室、脳外科手術用顕微鏡、鏡視下手術機器（外科、呼吸器外科手術）、泌尿器科手術用レーザー（尿路系結石破碎、前立腺切除）、ELVeS レーザー 1470（下肢静脈瘤治療）、MRI、CT、CTガイドデバイスTARG（ラジオ波）、マンモグラフィ、マンモトーム、ESWL（体外衝撃波結石破碎装置）等

■診療科目

【守谷慶友病院】  
総合診療科・内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科  
糖尿病内科・神経内科・外科・脳神経外科・血管外科・乳腺外科  
泌尿器科・呼吸器外科・禁煙外来・肛門外科

【ひがしクリニック慶友】  
総合診療科・糖尿病内科・泌尿器科

【伊奈クリニック】  
内科・小児科

## 関連施設

| 施設名                          | 住所                     | 電話番号               |
|------------------------------|------------------------|--------------------|
| 介護老人保健施設 ダ・ジャーレもりや           | 守谷慶友病院内                | TEL : 0297-20-6616 |
| 居宅介護支援事業所 サンタ                | ひがしクリニック慶友内            | TEL : 0297-46-0404 |
| 在宅介護支援センター わたぼうし             | ひがしクリニック慶友内            | TEL : 0297-46-2002 |
| 看護ステーション たんぽぽ                | ひがしクリニック慶友内            | TEL : 0297-45-3540 |
| 訪問介護事業所 コスモス                 | ひがしクリニック慶友内            | TEL : 0297-45-8222 |
| 通所リハビリテーション ダ・ジャーレもりや        | ひがしクリニック慶友内            | TEL : 0297-45-7733 |
| 短期入所療養介護 ダ・ヴィンチ              | ひがしクリニック慶友内            | TEL : 0297-48-6002 |
| 健康増進施設 K-FIT.                | ひがしクリニック慶友内            | TEL : 0297-21-9277 |
| 通所介護事業所 ビイ・ディ・ジェイ伊奈          | 伊奈クリニック内               | TEL : 0297-20-7272 |
| 居宅介護支援事業所 ビイ・ディ・ジェイ伊奈        | 伊奈クリニック内               | TEL : 0297-47-6078 |
| サービス付き高齢者向け住宅 はうすステーション ゆめみの | 〒302-0033 取手市米ノ井 165-1 | TEL : 0297-86-6070 |
| 居宅介護支援事業所 ゆめみの               | はうすステーションゆめみの内         | TEL : 0297-86-6073 |



## 慶友祭 2016

当日は天気に恵まれ、模擬店数も例年より多く出店し、地域の皆様には楽しんでいただけたかと思えます。さらに消防署にもご協力頂き、地震車、はしご車の展示を行いました。地震車は茨城県に一台しか無いので、体験された方は貴重な体験をされたのではないのでしょうか。今年のイベントは漫才協会の理事である新山ひでや・やすこさんと沖縄県出身で茨城県を中心に活躍されているボギーさんに来ていただきました。屋外でライブを行ったため、透き通る声が響き渡り、皆さんはボギーさんの歌声に酔いしれたに違いありません！！

また脳外科の三木先生のお知り合いである新山ひでや・やすこさんは夫婦で漫才をしている方です。茨城県民にわかることや、地域に特化した内容（つくばエクスプレス等）を漫才内に取り入れて頂き、観てくださった方に笑顔があふれました。準備期間が短く大変な部分もありましたが、笑顔あふれる慶友祭を開催でき良かったです。

慶友祭実行委員長 青木 義明

## 新年のご挨拶

守谷慶友病院院長 今村 明



新年明けましておめでとうございます。

皆さんはどんな年を迎えていらっしゃるでしょうか。良い年を迎えていらっしゃる事をお祈りしています。ありきたりの文言で 1 年を始めてしまいましたが、実は、この決まり文句である、「良い年」という言葉に去年から引っかかっています。大した良い事も無いのに、「良い年」って何なの？何か具体的に良い事があれば、それはそれで「良い年」と言えるのかもしれませんが、そんな良い事なんてそうそうあるものではありません。それでも、特別不幸な出来事が無い限り「良い年」を迎える事ができ、漠然と「良い年」をお迎え下さいと言います。つまり、何も良い事も無い代わりに、特別悪い事も無い、この何となく何事もないと言うのが、多分、「良い年」の原点なのではないでしょうか。

しかし、これだけでは、まだ不十分でもう一つ大事な事があるような気がします。それは、「雰囲気」です。何時もと違う正月の「雰囲気」が、「良い年」を感じるためのもう一つの重要な要素なのではないでしょうか。仮に多少の良い事があったとしても、世の中の「雰囲気」が悪くては、台無しです。居心地の良い「雰囲気」、これこそが「良い年」を迎える為に肝心である事は間違い無いようです。

さて、この「雰囲気」と言うやつは、何処にでもあって、我々の気分を左右する空気みたいなものですが、一寸した事ですぐに壊れる繊細なガラス細工のような物だと思います。その代り、良い「雰囲気」を醸し出し、それを維持するのはそう簡単な事ではありません。世の中が平和で、災害もなく、穏やかな空気にかこまれ続ける事は、簡単なようで、難しい事だと思うのです。同じように、病院の「雰囲気」と言うものがあって、それは、患者さんやご家族にとっても大事なものだと思います。難しい事かもしれませんが、良い「雰囲気」の病院であり続ける事を目指して、今年も努力を続けたいと思っています。



## 部署紹介 ～薬局～

薬局 山崎 令子

薬局は薬剤師 9 名、薬局助手 3 名の計 12 名のスタッフが在籍しています。その半数以上が 1 年以内に入職したスタッフというフレッシュな職場です。

今までの病院薬剤師は、薬局内での調剤が主な仕事でした。もちろん、今でも調剤は重要な仕事の一つですが、現在では、患者さんのベッドサイドに伺い薬の説明をすること、副作用や薬の効果についてモニタリングをすること、処方そのものの妥当性について検討すること、また医師や看護師、その他のコメディカルスタッフと一緒にカンファレンスを行い、薬剤師の視点から患者さんの治療や支援を行うことも重要な仕事となっています。そのために今年の 8 月からは、西 2 階病棟、3 階病棟に病棟薬剤師を配置しました。身近に薬剤師がいることで、病棟でスタッフの皆さんのお役に立てる場面が増えてきていること、医療チームの一員と認められていることを誇りに思います。

そして、ゆくゆくは病院だけでなく、この地区の保険薬局の薬剤師との薬業連携を推進したいと考えています。例えば、退院したばかりの患者さんのご自宅へ担当の病院薬剤師と薬局薬剤師が一緒に訪問し、注射薬や薬をお届けするといったことです。患者さんが落ち着かれたら、その後の訪問指導は保険薬局にお任せする、そんな薬局と病院の橋渡しのような仕事ができることを夢見ています。もっと地域に向かって開かれた薬局になれるようがんばっていききたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



## 下肢救済への取り組みについて Vol.3

つくば血管センター 久米 博子

### バイパス術・自家静脈編

今回は細い下腿動脈へのバイパス術についてご案内いたします。

血管内治療（カテーテル治療）などで治療困難と言われた症例でも、下腿バイパス術（Distal bypass）で治療できることがあります。血管内治療は土砂崩れを起こした道を何とか通れるようにする治療、バイパス術は全く新しい高速道路を建設する治療と例えることができます。したがって、バイパス術では血管内治療で再建した血管よりも、多くの血流を供給できるため、足の傷の治りも早く、長期開存が望めます。

写真 1

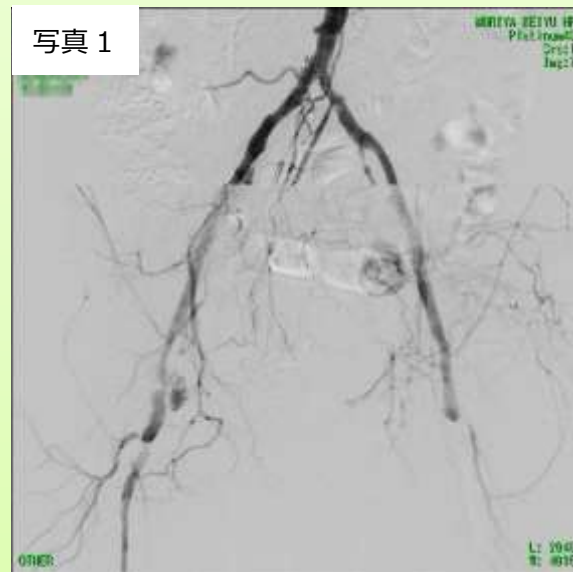
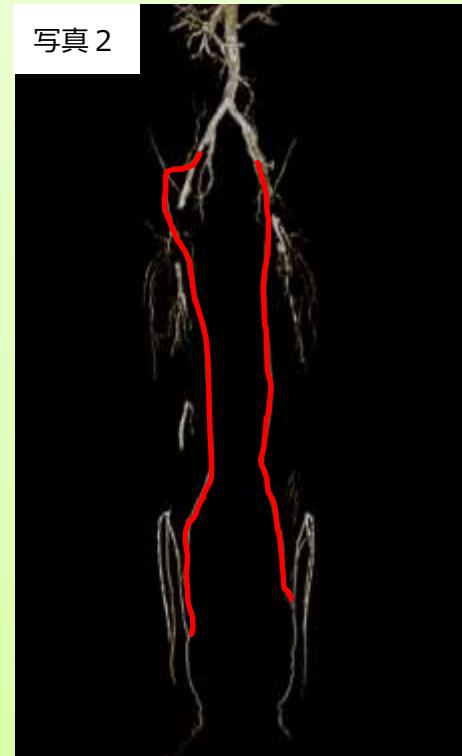


写真 2



他院でステント留置後、足の血流が悪くなった 51 歳男性の症例。腓骨部以下の血管が見えなくなっている（写真 1）。閉塞した大腿から膝までの動脈の代わりに自家静脈でバイパスを作り、足先まで血液が通うようになった（写真 2）。

## 市民公開講座開催のご報告



平成 28 年 11 月 26 日（土）守谷市保健センターにて、当院血管センター久米博子先生による「下肢静脈瘤ってどんな病気？」、当院糖尿病内科須澤直木先生による「糖尿病ってどんな病気？」という 2 演題で公開講座を開催致しました。遠方からもたくさんの方にお越しいただき、総勢 71 名にご参加いただきました。参加された方も 20 代～80 代までと、幅広い年齢の方にご興味を持っていただき、講演後にはたくさんの質問も頂戴しました。

あらためて地域の皆様の健康意識の高さに驚きました。講演後のアンケートでは、認知症や脳梗塞、生活習慣病などの病気に関する講演を聞きたいというご要望を多数いただきました。今後も不定期ではありますが、地域の皆さま向けに公開講座を行ってまいります。詳細が決まりましたらまたホームページやこちらの広報誌でお知らせしてまいりますので、是非ご注目ください。

